

## 第5章

# 成果目標



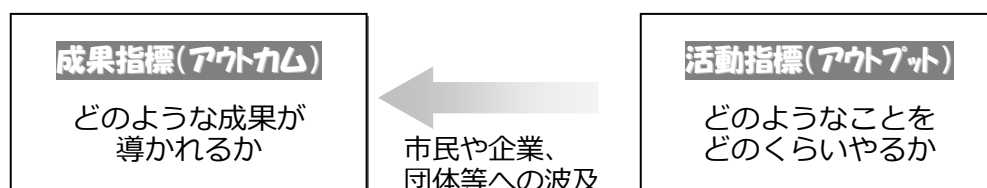
# 1 施策の成果目標一覧

本市における一層の男女共同参画の推進を図るためには、より実効性のあるプランとしていく必要があります。プランの実効性の確保のためには、計画の達成状況や、主な取り組みの進捗状況を的確かつ客観的に判断できるよう、数値による進捗管理を行っていくことが重要です。

そこで、施策の成果目標を設定し、定期的に把握・評価することで、施策の推進における課題をあきらかにし、その後のより効果的な推進につなげていきます。

## 成果目標設定の考え方

本プランでは、基本目標ごとに、「成果指標」と「活動指標」を設定します。



## 基本目標1 人権の尊重と男女共同参画社会に向けての意識づくり

### 成 果 指 標

指標名	現状値 (平成 25 年度)	目標値 (平成 30 年度)
<b>社会全体での男女の平等感</b> 【算出方法】 市民意識調査において、「社会全体」について「平等である」と回答した人の割合	14.8%	20.0%
	【目標値設定の考え方】 市民意識調査から評価する。国調査では 24.6%、愛知県調査では 14.4%となっているため、2割程度をめざす。	

### 活 動 指 標

指標名	現状値 (平成 25 年度)	目標値 (平成 30 年度)
街頭人権啓発活動回数	6 か所/年	6 か所/年
広報車による市内啓発広報活動回数	2 回/年	2 回/年
人権よろず相談実施回数	6 回/年	6 回/年
特設相談 (人権擁護委員の日)	4 地区	4 地区

## 基本目標2 政策・方針決定過程への男女共同参画の拡大

## 成果指標

指標名		現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
審議会における女性の割合	【算出方法】 各年4月における清須市の審議会、委員会の女性委員の割合	25.0%	→ 30.0%
		【目標値設定の考え方】 国の「第3次男女共同参画基本計画」に定める「市区町村の審議会等委員に占める女性の割合を30%にする」という目標値に合わせ設定。	
農業委員のうちの女性数	【算出方法】 農業委員のうちの女性数	0人	→ 1人
		【目標値設定の考え方】 女性委員の登用をめざす。	

## 活動指標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
愛知県自治研修所や市町村アカデミー（JAMP）の主催する女性向け研修会への参加促進	—	→ 参加促進

### 基本目標3 家庭や地域社会における男女共同参画の拡大

#### 成 果 指 標

指標名		現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
家庭における 平等感	【算出方法】 市民意識調査において、「家庭生活」について「平等である」と回答した人の割合	35.2%	40.0%
		【目標値設定の考え方】 市民意識調査から評価する。前回調査が33.9%であることから、前回以上の上がり幅をめざす。	
地域活動の場における 平等感	【算出方法】 市民意識調査において、「地域活動の場」について「平等である」と回答した人の割合	32.0%	40.0%
		【目標値設定の考え方】 市民意識調査から評価する。前回調査が29.4%であることから、前回以上の上がり幅をめざす。また、国調査では52.1%となっているため、4割程度をめざす。	
男性を主にした 食生活に関する 教室	【算出方法】 開催回数	1回	2回
		【目標値設定の考え方】 開催回数を増加し、男性の家庭生活における活動への参画意識高揚をめざす。	

#### 活 動 指 標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
ブロック自主防災組織の規約の策定率	89.5%	100.0%
食生活改善推進員数（男性会員数）	63人 （うち男性会員 0人）	75人 （うち男性会員 8人）

## 基本目標4 男女がともに働きやすい就業環境の実現

### 成果指標

指標名		現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
男性の育児休業取得率	【算出方法】 市民意識調査において、育児休業を「取ったことがある」と回答した男性の割合	0.5%	➔ 15.0%
	【目標値設定の考え方】 市民意識調査から評価する。「取得したことがある」に加えて、「取りたかったが、取ったことはない」の13.0%が全員取れるようになることを仮定し、15.0%とする。		

### 活動指標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
ファミリー・フレンドリー企業*登録企業数	5 か所	➔ 7 か所
ワーク・ライフ・バランスについての啓発の実施	3 回	➔ 5 回
保育所の入所定員	1,735 人	➔ 1,850 人

## 基本目標5 福祉の充実と生涯にわたる心身の健康づくり

### 成果指標

指標名		現状値（平成 24 年度）	目標値（平成 30 年度）
乳がん検診受診率・子宮頸がん検診受診率	【算出方法】 当該検診の対象となる女性のうち、乳がん検診、子宮頸がん検診の受診者数の割合	乳がん 38.9% 子宮頸がん 39.4%	➔ 50.0% 50.0%
	【目標値設定の考え方】 国のがん対策推進基本計画の分野別施策と個別目標より50.0%とする。		
自殺者の減少	【算出方法】 保健所事業概要	(人口 10 万対) 22.8	➔ (人口 10 万対) 15.4 以下
	【目標値設定の考え方】 国の自殺総合対策大綱より人口 10 万人当りで算出する。健康日本 21 清須計画の平成 26 年度目標が 10 人以下であるため、人口 10 万人当り 15.4 以下とする。		
子育ての相談ができる人がいる割合	【算出方法】 母子健康診査マニュアル報告 4 か月児健診統計	97.0%	➔ 100%
	【目標値設定の考え方】 相談支援体制を整備し、情報提供することで、全員相談できる環境整備をめざす。		

## 第5章 成果目標

### 活動指標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
女性がん検診に関する情報提供	広報 1 回 出前講座 5 回	→ 広報 2 回 出前講座 8 回
ゲートキーパー養成講座等への参加者数	50 人	→ 平成 26 年～30 年まで 延べ 250 人受講
パパママ教室の参加者数	310 人 (うち男性 92 人)	→ 320 人 (うち男性 100 人)

## 基本目標6 あらゆる暴力の根絶

### 成果指標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
<b>DV※の意味を知っている人の割合</b> 【算出方法】 市民意識調査において、「DVの意味を知っている」と回答した人の割合	85.2%	→ 100.0%
	【目標値設定の考え方】 DVについての情報提供を推進し、市民全員に、DVの言葉の意味、内容の浸透を図る。	
<b>DVに関する相談窓口を知っている人の割合</b> 【算出方法】 市民意識調査において、「DVについて相談できる窓口があることを知っている」と回答した人の割合	58.4%	→ 80.0%
	【目標値設定の考え方】 DVの相談体制を整備し、情報提供することで、相談しやすい環境となることをめざす。	

### 活動指標

指標名	現状値（平成 25 年度）	目標値（平成 30 年度）
DV防止に関する情報提供・媒体数	3 媒体	→ 5 媒体